

平成3年4月に誕生したボランティア団体『串間市食生活改善推進協議会』（井上久美代会長・34人）。食の欧米化による生活習慣病への影響やライフスタイルの変化による孤食など、現代の食の問題を改善しようと、さまざまな活動を続けてきました。

そんな皆さんが3年前、協議会発足20周年に向け、活動をより広く知ってもらおうと一念発起。串間の料理集発行に向け、推進員11人によるプロジェクトメンバーを結成しました。掲げたテーマは『地産地消』と『だれでも簡単にできる料理』。

3年間の時を経て生まれたレシピには試作を重ね磨き上げた1品もあれば、思いもよらぬ偶然から生まれた1品も。自然豊かな串間市で手に入る食材を存分に生かし、主婦歴数十年という達人の知恵と工夫が凝縮された料理集です。

『串間の料理集』完成しました

ボランティア団体『串間市食生活改善推進協議会』の皆さんが、串間の豊かな食材を使った『簡単おいしい』料理集を発行しました。

レシピは主食・主菜・副菜・汁物・デザートの特集で、マごとに全64品をすべてカラーで掲載。「今日の夕飯は何にしよう…」と迷ったら、ぜひ料理集を開いてみてください。手元にある食材で作れるレシピがきっと見つかるはず。

また、お弁当に活用できるレシピも多数掲載。あなたの家事を助ける強い味方になるでしょう。ぜひ、ご活用ください。

「どんなレシピが掲載しているのかぜひ知りたい」



という方のために、本紙10ページ『スローフード』のコーナーで一部を紹介しています。併せてご覧ください。

料理集の受け取り方法

- ◎場所Ⅱ福祉保健課健康増進係（串間市総合保健福祉センター内）②番窓口
- ◎発行部数Ⅱ300冊限定
- *配布は、お1人1冊に限らせていただきます。
- ◎料金Ⅱ無料
- ◎配布開始日Ⅱ7月2日（月）
- ◎その他Ⅱ窓口に来られる方にのみお渡しいたします。
- 問い合わせ先Ⅱ福祉保健課健康増進係 ☎72-10333



5月23日、くしま市民活動交流センター「パナップ」がオープンしました。NPO法人くしま商道芸人が串間市から委託を受けて運営しています。

「パナップ」って？

パナップとは協働を意味する『パートナーシップ』を短縮した、センターの愛称です。センターは昨年度、串間市民協働推進センター設立準備事務所としてさまざまな活動をしてきました。

これまでの活動

行政とNPO法人や地域づくり団体との出会いの場である『協働商談会』。市民と行政を対象にした『市民協働研修会』。これらの活動を通して、市内の『協働』意識の向上を目指してきました。また、地域づくり団体への指導・アドバイスをはじめ、映画『今日、恋をはじめます』ロケでは各団体の調整役として活躍。センターが積極的に動くことで市民活動の活性化に貢献してきました。

「パナップ」の役割

センターの目的は市民活動の活性化です。センターの働きは大きく分けて4つあります。

広める 啓発・推進

- ・これから何かを始めたい人へ
—市民活動のきっかけになるイベントを開催します。
- ・地域を活性化したい人へ
—団体・イベント情報を発信します。（ホームページ・メーリングリストの活用）



支える 直接的な支援

- ・市民活動を行っている人へ
—団体の立ち上げを支援します。（NPO設立講座の開催）
—団体の運営を支援します。（労務、会計などのサポート講座の開催、会議スペースの提供など）



つなげる 交流・コーディネート・協働

- ・活動を広げたい人へ
—出会いと交流を促進します。（団体の交流会やイベントの開催）



はたらく 主催事業・協働事業

- ・センター自ら働きます。
—人材の発掘・育成を行います。（人材バンクの整備）
—調査・研究・提案を行います。（アンケート調査や先進事例の紹介など）

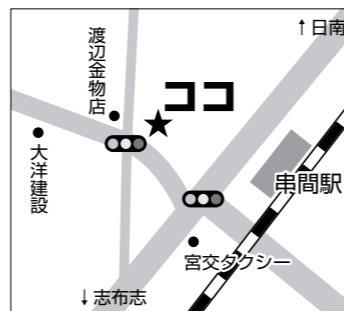


みんなに利用して欲しい。

だれでも気軽に利用して欲しいですね。高校生が放課後におしゃべりに来てほしいし、おばあちゃんたちがお茶を飲みに来てほしい。ここに来ればいろんな人と出会える。そういう場所にしてほしいです。『市民協働』って、本当はすごく簡単なこと。みんなが話をして、同じ気持ちで何かに取り組む。これだけなんです。串間の未来を語る場所になって欲しいですね。



くしま市民活動交流センターセンター長 岩下大次さん



●問い合わせ先●
くしま市民活動交流センター
☎ 27-3075

くしま市民活動交流センター「パナップ」がオープンしました

串間市の市民活動を応援するために誕生した「パナップ」皆さんも気軽に立ち寄ってみてください。

